

飯綱町 i (アイ)バス運行事業の概要



1. 現状分析と基本方針

(1) 利用者・住民のニーズ把握

町では、住民、交通事業者、行政、それぞれがお互いに認め合えるような、客観的なデータの集積を図った。現況及び住民ニーズを把握するため、具体的に次のような調査を行った。

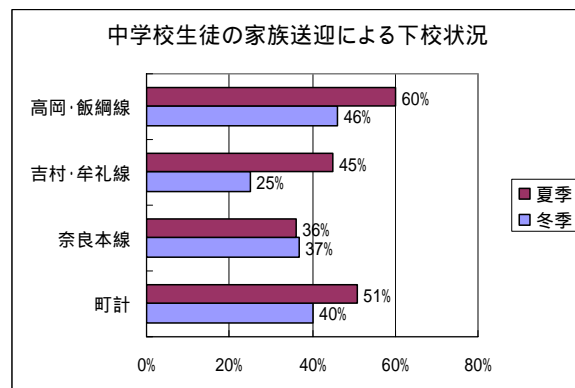
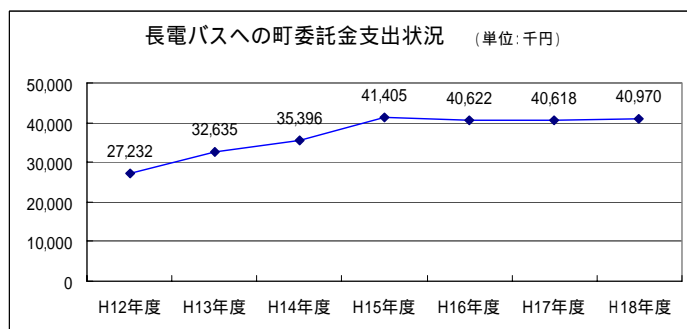
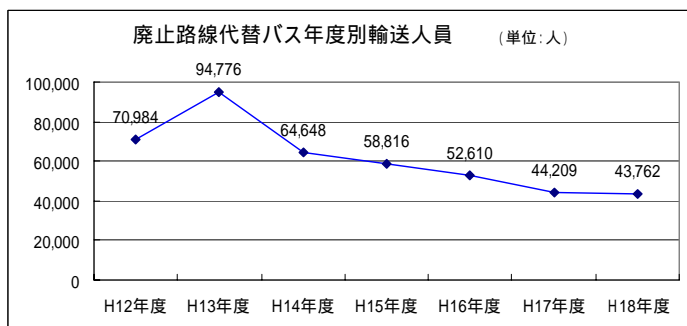
全世帯を対象とした住民意向調査	配布 3,735 回収 2,418 回収率 64.7%
中学校距離通学生徒保護者アンケート調査	配布 104 回収 81 回収率 77.9%
利用実態調査及びバス利用者アンケート調査	平日及び休日、バス全便を調査
中学校ヒアリング	1 回
交通事業者ヒアリング	3 回

(2) バス利用者数の減少と町財政支出額の増

下グラフのとおり、バス利用人員は、年々減少している。

それに応じて、運行収入が減少するため、町の公共交通にかかわる財政支出額は増加しており、費用対効果の面で疑問が残る運行になっている。

また、中学校遠距離通学生徒保護者アンケート調査から、飯綱中学校の遠距離通学生徒が、通学にバスを利用しづらい状況にあり、下グラフのとおり、登下校において、家族送迎に頼る生徒が非常に多くなっている。



(3) 基本方針

町は「住民からの要望にしっかりと向き合い、住民の目線に立った新しい公共交通を創っていく」という姿勢に強くこだわった。そして町公共交通対策協議会で検討を重ねながら、新公共交通システムの基本方針を次のように定めた。

「みんなに便利で、わかりやすい、環境に優しい公共交通システム」

すべての人が便利に利用できる公共交通システムを創っていく

交通空白地域及び交通不便地域を解消し、公共交通利用機会の公平性を確保していく。

すべての人にわかりやすい公共交通システムを創っていく

定時定路線運行については、JRとの接続に配慮したバス時刻、直線的なバス路線の新設など、わかりやすいバス運行ダイヤを構築していく。デマンド運行方式による運行については、利用主体となる高齢者にわかりやすい広報等を実施する。

環境に優しい公共交通システムを創っていく

小型バス及びワゴン車など、需要に応じた適正規模の車両を導入し、CO²の削減を図っていく。

2. 新公共交通システム計画の策定及び導入までの検討

町公共交通対策協議会の検討のうへ、平成19年3月20日新公共交通システム計画を策定。4月末日発行の広報紙で、全町民に広報した。4月以降は、道路運送法に基づく地域公共交通会議により、導入までの詳細な検討を実施。

(1) 町公共交通対策協議会による検討

自治会、老人クラブ、障害者団体、学校及び生徒保護者、商工会、観光協会、公共交通事業者、識見を有する者（北陸信越運輸局、民児協会長）等の21人の委員により町公共交通対策協議会を組織し、公共交通の課題解決のための検討を行った。計5回の協議会を開催し、新しい公共交通システムの運行方針について合意が得られた。

- | | | |
|-----|--------|---|
| 第1回 | H18.6 | ・町公共交通の現状の説明
・新公共交通システム構築までのスケジュールの説明
6月～10月 現状の把握及び課題の整理
11月～3月 新公共交通システムの検討、決定
4月～9月 新公共交通システムの導入準備
10月 新公共交通システムの運行 |
| 第2回 | H18.7 | ・公共交通システム調査計画業務委託業者について報告
・新公共交通システム計画策定までの作業手順の詳細について
・交通に関するアンケート調査の検討 |
| 第3回 | H18.11 | ・アンケート調査結果（住民意向調査、中学生保護者調査）について報告 |
| 第4回 | H18.11 | ・新公共交通システムの基本方針の決定
・新公共交通システムの具体案の説明 |
| 第5回 | H19.2 | ・新公共交通システム計画について説明
・新公共交通システムの実施主体について説明 |

(2) 公共交通システム調査計画業務委託

委託業者の選定

プロポーザル方式により契約の相手方を選定

参加表明書の提出 H18.6.23

技術提案書の提出 H18.6.29

ヒアリング H18.7.3 (株)地域総合計画、東日本電信電話(株)、大新東(株)

委託業者との契約

須坂市大字野辺 1354-1 (株)地域総合計画

契約金額 2,982,000円

特定財源

コモンズ交通システム支援事業補助金（県補助金）1,000千円

(3) 町地域公共交通会議による検討

自治会、老人クラブ、障害者団体、生徒保護者、商工会、公共交通事業者、長野県等の20人の委員により町地域公共交通会議を組織し、新公共交通の運賃、運行路線、運行時刻等について検討を行った。計3回の会議を開催し、新しい公共交通システムの運行について合意が得られた。

構成員

町民代表（自治会、老人クラブ、障害者協会、生徒保護者、商工会、民児協）、公共交通事業者、運転手が組織する団体（長電労働組合、県タクシー協会）、北陸信越運輸局長野運輸支局、長野中央警察署、長野県（企画局交通政策課長、長野地方事務所長）

会議概要

- | | |
|-----------|---|
| 第1回 H19.5 | ・ 地域公共交通会議の概要
・ 新公共交通システム計画の説明 |
| 第2回 H19.6 | ・ 運賃について合意
・ 事業計画について合意（路線、営業区域、使用車両等）
・ 運行計画について合意（運行時刻等）
・ 新交通システムの名称の決定 |
| 第3回 H19.7 | ・ 新公共交通システムの詳細の説明
・ 収支予測の説明 |

3. i バス（新公共交通システム）の運行概要

A. 概要

(1) 時間帯により運行方式を変更

時間帯	朝及び夕	昼間
利用者及び目的	学生の通学	高齢者の通院及び買い物
公共交通に求められるもの	JRへの乗り継ぎ並びに中学校及び高校への通学のため、大量輸送と運行時刻の正確さが求められる	車両への乗降のために歩く距離が少ない、乗りやすい車両など、ADL（日常生活動作）が低下している人への対応が求められる
運行形態	定時定路線運行	デマンド方式による運行

(2) 利便性の向上と運行コストの抑制

従来 of 公共交通予算の枠内で納めながら、公共交通の利便性を向上させるため、次のような手法により運行コストを抑制した。

新公共交通システムは学生の通学、高齢者の通院及び買い物の利便性を図ることに焦点をあてたため、土日祝日等は運休し、平日の運行に公共交通予算を集中させた。

ランニングコストを抑えたデマンド交通受付システムの導入、適正な金額での運行費単価の設定を行った。

B. 朝及び夕の運行

長野市へのJR利用による通学・通勤者、並びに町内の高校及び中学校への通学者が、移動可能となるようなバス等の定時定路線運行を行う。バス等が町内のほぼ全域を通過し、かつ、走行時間を短くするために、現行のバス路線を5路線から7路線に増やし、直線的なバス路線にしていく。運行は、町内輸送事業者に委託する。夜7時接続の運行については、デマンド運行を行う。

(1) 定時定路線バスの運行概要

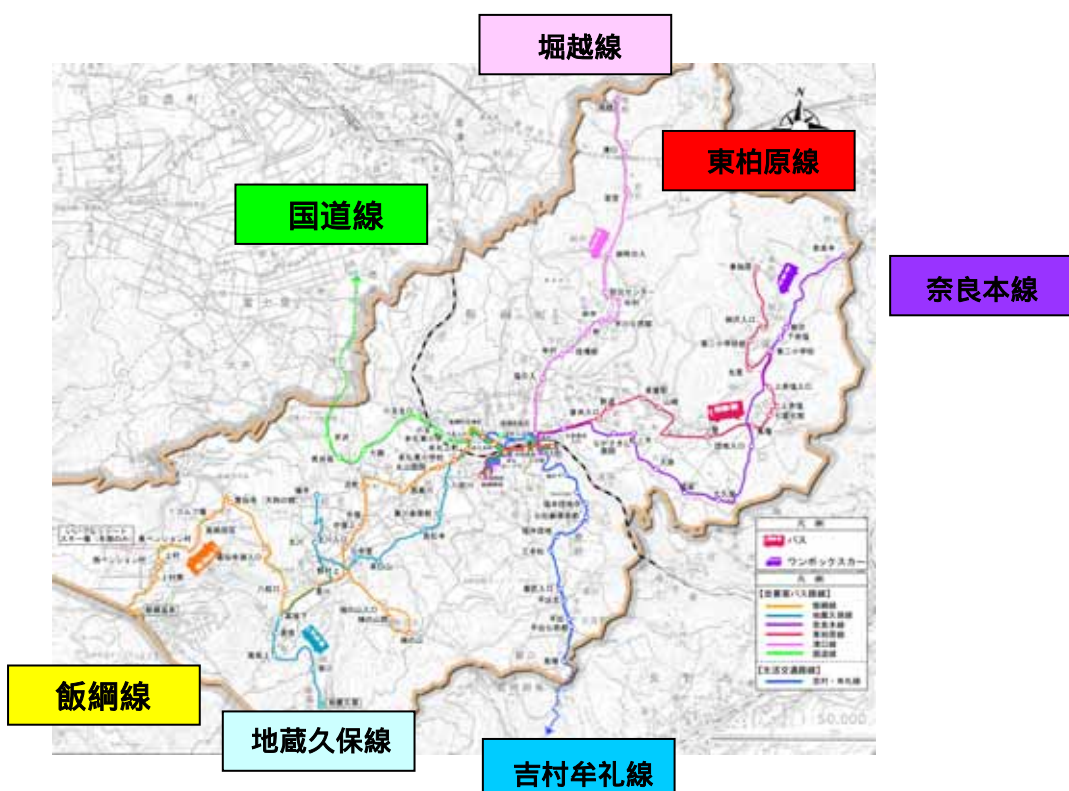
定時定路線バスと朝の長野行き列車(のぼり)との接続

牟礼駅列車発着時間	飯綱線	地藏久保線	吉村・牟礼線	国道線	奈良本線	東柏原線	堀越線	主な利用者
	長電	長電	長電	長電	タクシー	長電	タクシー	
	大型バス	小型バス	大型バス	大型バス	ワゴン	大型バス	ワゴン	
7:17				×				部活加入中学生 高校生
8:12								西小学校児童 部活未加入中学生

定時定路線バスと夕方の長野からの列車(くだり)との接続

牟礼駅列車発着時間	飯綱線	地藏久保線	吉村・牟礼線	国道線	奈良本線	東柏原線	堀越線	主な利用者
	長電	長電	長電	長電	タクシー	長電	タクシー	
	大型バス	小型バス	大型バス	大型バス	ワゴン	大型バス	ワゴン	
15:39		×	×	×	×	×	×	西小学校児童 中学生(冬季)
16:36								部活未加入中学生 高校生
17:49	×	×	×		×	×	×	
18:25				×				部活加入中学生 高校生
19:01	デマンド対応				デマンド対応			高校生

定時定路線バス運行図面



(2) ナイトワゴン(夜7時15分・牟礼駅発デマンドワゴン)の運行概要

夜7時5分・牟礼駅発デマンドワゴンの運行概要

地域名	行き先	運行会社	使用車両	乗車定員	座席数	便数	運行区域
牟礼方面	駅発 / 牟礼西方面行き	地元タクシー	ワゴン車	8人	8席	1	牟礼地域
三水方面	駅発 / 倉井・赤東方面行き	地元タクシー	ワゴン車	8人	8席	1	三水地域

* 予約を必要とする。

* 運行コースは、バス路線を基本とし、利用者の降車希望場所で停車する。

(3) 定時定路線バス及びナイトワゴン(夜7時15分・牟礼駅発デマンドワゴン)の運行日

平日のみ運行し、土日、祝日及び年末年始は運行しない。

吉村・牟礼線は、従来どおり運行。

国道線は、土日、祝日の運行本数を減少させて運行する予定。

(4) 定時定路線バスの料金

中学生以上	小学生	幼児(小学生入学前)	身体・知的・精神障害者
200円	100円	無料	正規料金の半額

(5) ナイトワゴン(夜7時15分・牟礼駅発デマンドワゴン)の料金

中学生以上	小学生	幼児(小学生入学前)	身体・知的・精神障害者
200円	100円	無料	正規料金の半額

C. 昼間の運行方針

町内どこに住んでいても、高齢者等が買い物や病院に快適に行けるよう、電話予約により、自宅、訪問先を戸口から戸口へとワゴン車で送迎する。

町内を4つの方面に分け、まちなか方面と各方面(遠方部)を4台のワゴン車が往復する。ワゴン車の運行時刻及び進行方向は決まっているので、利用者は希望にあわせ便を予約する。

このデマンド交通を実施することにより、交通空白地域は完全に消滅する。

(1) iバス(デマンドワゴン)の営業区域及び使用車両

iバス(デマンドワゴン)の運行概要

地域名	行き先	運行会社	使用車両	乗車定員	座席数	便数	運行区域
牟礼西方面	まちなか方面行き	長電バス	ワゴン車	14人	14席	4	袖之山区を除く(西地区、西黒川区、小玉区、
	牟礼西方面行き					3	
牟礼東方面	まちなか方面行き	長電バス	ワゴン車	14人	14席	4	牟礼西方面を除く牟礼地域
	牟礼東方面行き					3	
三水方面(東部)	まちなか方面行き	長電バス	ワゴン車	14人	14席	4	倉井区、赤東区
	三水方面行き					3	
三水方面(西部)	まちなか方面行き	地元タクシー	ワゴン車	9人	9席	4	芋川区、普光寺区
	三水方面行き					3	

(2) iバス(デマンドワゴン)の運行時刻

まちなか方面行き	便	各方面発	まちなか方面着
	第1便	9:15	9:45
	第2便	10:45	11:15
	第3便	13:45	14:15
各方面行き	便	まちなか方面発	各方面着
	第1便	10:00	10:30
	第2便	11:30	12:00
	第3便	13:00	13:30
	第4便	14:30	15:00

(3) iバス(デマンドワゴン)の運行日

平日のみ運行し、土日、祝日及び年末年始は運行しない。

(4) iバス(デマンドワゴン)の料金

中学生以上	小学生	幼児(小学生入学前)
300円	200円	無料

(5) iバス(デマンドワゴン)の利用者

町内にお住まいの方で、利用申込書により利用登録がお済の方。予約受付を短時間に終了するために必ず登録が必要。登録は随時受け付け、登録料は無料。

i (アイ) バス利用の流れ

利用者側視点

電話予約



地区の飯綱花子です。
今日の9時15分の便で、自宅から病院までお願いします。

受付センターへ電話で乗車の予約をしてください。自分の住所と名前、利用希望日時、乗車場所と行き先を伝えてください。

アイ i バスがお自宅にお迎え



こんにちは
i(アイ)バスです！
お迎えにあがりました

ワゴン車がお自宅までお迎えにあがります。相乗りの車であるため、予定時刻は多少前後することがあります。

予約受付

飯綱花子さんですね。
今日の9時15分の便の予約を受け付けました。ご自宅でお待ちください。



スタッフが電話で対応します。利用申請が多い場合は、希望時刻を変更していただくことがあります。

アイ i バスで目的地へ到着



病院の玄関前まで
i(アイ)バスが来てくれるから、患者さんは大喜びです。

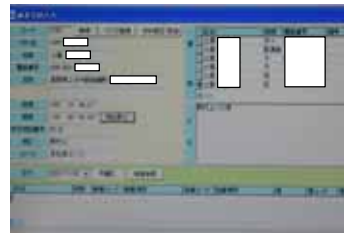
目的地に着いたら運賃又は回数券を払って降ります。相乗りの車であるため、到着時刻は多少前後することがあります。

電話受付



オペレーターが電話で対応します。受話器をあげた時点で、利用者情報がパソコン上の画面に出ます。(登録された電話のみ)

予約情報の入力



利用者情報画面から、乗車予約入力を行います。利用者の氏名を予約欄にドラッグして、乗車場所、降車場所、利用日時を入力します。

運行者側視点

SD カードを手渡し



オペレーターはSDカードに予約情報を書き込み、そのカードと予約表を運転手さんに手渡します。

SD カードをカーナビにセット



SDカードをカーナビにセットした後、画面上の予約者の氏名を順番にタッチすると、カーナビが行き先を案内します。

D . i バス（新公共交通システム）の効果

飯綱病院への通院にかかわる交通空白地域及び交通不便地域の解消

項目		町内の全集落	交通空白地域	通院交通不便地域
導入前	集落数	50	4	16
	占める率		8%	32%
iバス運行後	集落数	50	0	0
	占める率		0%	0%

* 交通空白地域とは、バス路線が無い地域をいう。

* 通院交通不便地域とは、飯綱病院へ午前中にバスで通院し、正午までにバスで帰ることができない地域をいう。

遠距離地域中学生の通学にかかわる交通空白地域及び交通不便地域の解消

項目		遠距離通学地域	交通空白地域	通学交通不便地域
導入前	集落数	23	2	17
	占める率		9%	74%
iバス運行後	集落数	23	0	0
	占める率		0%	0%

* 交通空白地域とは、バス路線が無い地域をいう。

* 通学交通不便地域とは、4km以上の遠距離通学地域に住む飯綱中学校生徒が、部活の加入の有無にかかわらず、バスで登校及び下校できない地域をいう。

E . i バス（新公共交通システム）の課題

（1）土曜日、日曜日、祝日、12月31日から翌年1月3日までの運休

（吉村・牟礼線及び国道線は除く）

住民アンケート調査結果

住民アンケートでは、下記のとおり、土・日曜日及び祝日は運休し、その経費を平日の運行経費にまわしたほうが良いと答えた人が約半数を占めた。

「土・日曜日及び祝日の運行についてどのように考えますか」

1位：「休日のバス運行を取りやめ、それにかかる運行経費を、平日の運行本数増にまわすべき」47.4%

2位：「休日のバス運行は、利用者が少なくても現状のまま運行すべき」32.6%

3位：「その他」20.0%

休日の利用実態調査結果

表バス利用実態調査結果のとおり、休日の利用者は極端に少なく、乗車0人の便が、いずれも50%以上を占めた。

バス利用実態調査結果

調査日 平日:平成18年7月19日(水) 調査者:地域総合計画
 休日:平成18年10月22日(日) 調査者:飯綱町役場

路線	行き先	利用者数		合計		運行本数		平均乗車人員		最大区間乗車人員					
		平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日	休日	平日		休日			
高岡・飯綱線	飯綱温泉方面	67	8	121	16	18	12	6.7	1.3	21	牟礼営業所行き A7:20発	4	飯綱温泉行き P3:48発他	6	6
	牟礼営業所方面	54	8											33%	50%
奈良本線	奈良本方面	14	2	27	3	16	10	1.7	0.3	6	牟礼営業所行き A9:00発	1	第二小行き P3:30発他	9	7
	牟礼営業所方面	13	1											56%	70%
溝口線	堀越方面	9	3	14	4	15	6	0.9	0.7	3	防災センター行き P7:04発	2	溝口行き P4:25発	6	3
	牟礼営業所方面	5	1											40%	50%
国道線	野尻湖行	7	2	14	4	10	6	1.4	0.7	3	野尻湖行き A11:45発他	2	野尻湖行き A9:40発他	2	4
	牟礼営業所方面	7	2											20%	67%
吉礼・牟礼線	長野方面	66	-	125	-	23	-	5.4	-	16	長野行き A7:35発	-		1	-
	牟礼営業所方面	59	-											4%	-

運休日なしで運行した場合の事業費

年間で平日は 245 日、土・日曜日、祝日、年末年始は 120 日で試算している。運休日なしで年間をとおして運行する事業費は、休日を運休とした場合の約 1.5 倍にもなってしまう。

(2) 町民以外の観光客、通院者等の移動

町民以外の観光客、通院者等は、定時定路線バスは利用できるが、iバス(デマンドワゴン)は利用できない。需要は比較的少ないため、地元タクシー会社を紹介していく。

(3) 飯綱病院等通院者の地元商店街での買い物

高齢者の行動パターンとして、病院へ行った帰りに、買い物などの用事を済ませるといことが多いと考えられる。しかし、iバス(デマンドワゴン)で病院からそのまま家へ帰ってしまうと、買い物等ができなくなる。

病院、商店などの町中心部(まちなかエリア)を巡回できるような、交通手段の確保について町商工会と研究し、平成 20 年 1 月から「まちなかバス」の運行を目指す。

4 . iバス(新公共交通システム)の費用等

住民アンケート調査で「今後のバス交通に対する行政負担額のあり方」について聞くと、行政負担を無くす又は削減が 35.8%、妥当が 19.8%、企業や個人から協賛金を得るが 19.6%、行政負担を増やすが 18.3%であった。

当町の財政事情は、合併による特例的な財政措置(町収入)が年々減少する一方で、高齢化に伴う社会保障費などの義務的経費の増、国の財政状況等から判断して、町を取り巻く財政的制約は、今後、ますます厳しくなると予測できる。

厳しい財政事情のなかで、安定的にレベルの高い公共交通サービスを維持していくためには、徹底的にコストを見直した新公共交通システムの構築が必要になる。

A . 導入費用

(1) 主な導入費用

新公共交通システムの主な導入費用

(単位:円)

項目	金額
デマンド交通受付システム1式	10,087,560
小型バス1台	16,590,000
15人乗りワゴン車3台	10,200,000
計	36,877,560



アイバス受付システム。
導入費用及びランニングコストが低い
システムを全国で初めて導入。



小型バスポンチョ。
座席数 12、立席 14 の超小型バスを導入。



15人乗りワゴン車。
座席数 14 のハイエースコンピューター
を導入。

(2) 特定財源

市町村合併特例交付金 (県補助金) 36,910,000 円交付決定済み

B . 運行費用

(1) 契約方法の見直し

運送事業者と運行協定を結び、運行費から運賃収入等を控除した欠損額に相当する額を、補助金として交付する。この運行費については、運行費単価と運行実績により算出する方法に変更した。

定時定路線バスの運行費 車種別の k m 当り単価 × 実車走行距離

デマンド交通の運行費 時間当たり単価 × 運行時間

運行費単価については、人件費、燃料油脂費、車両修繕費、車両に係る保険等の諸経費、一般管理費含む。

この変更により、町で運行費を算出することができるようになり、町の交通予算で、どのような運行ができるのか把握できるようになり。また、今後、住民からの要望により、運行路線、運行本数の見直しの際も、それによる運行費の変化を町が試算できるようになる。

(2) ランニングコストを抑えたデマンド交通受付システムの導入

委託業者の選定

プロポーザル方式により契約の相手方を選定

参加表明書の提出 H19.5.15

技術提案書の提出 H19.5.18

ヒアリング H19.5.22 パイオニアナビコム(株)、東日本電信電話(株)、東北移動通信(株)

委託業者との契約

東京都目黒区目黒 1-4-1 パイオニアナビコム(株)

契約金額 10,087,560 円

特徴

カーナビゲーションと C T I システムを組み合わせたシステム。受付オペレーターが予約情報を S D カードでドライバーに渡す所が大きな特徴。このため、データを渡す通信費がかからず、またシステムがシンプルのため、保守費用が安価になっている。

保守管理費・通信運搬費の年試算

(単位:円)

項目	金額	説明
受付けシステム保守管理費用	168,000	
オペレーターとドライバーの通信費用	53,000	携帯電話4台 ホワイトプラン
固定電話通信費用	180,000	15,000円 × 12月
計	401,000	

(3) iバス(新公共交通システム)導入による財政的な効果

下表のとおりデマンド交通の導入等により、200万円ほどの収入増を見込み、これまでより350万円ほど町支出が減少すると試算している。

運行収入がこれまでとほぼ同額とすると町支出額は150万円の減となる。よって、運行収入の増減を加味し、新システム導入により、町の支出額は、これまでより、150万円から350万円の範囲内で、減少すると試算している。

新公共交通システム運行にかかわる経常経費試算

(単位:円)

項目	新システム	従来
定時定路線運行費	27,987,000	49,910,000
デマンド交通運行費	13,524,000	
ナイトワゴン運行費	1,935,500	
システム保守通信費	401,000	
オペレーター人件費	2,500,000	
運行費計	46,347,500	49,910,000
運賃収入等	8,781,000	6,783,000
欠損額	37,566,500	43,127,000
町支出割合	100%	95%
町補助金額	37,566,500	40,970,000

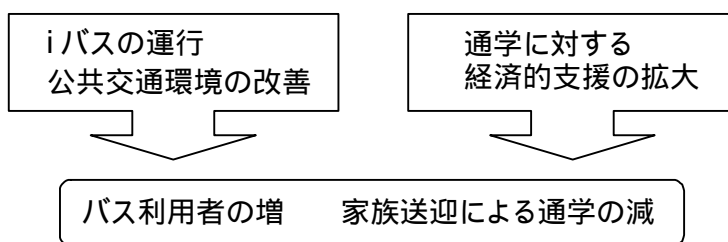
* 現状は欠損額の95%を補助金として支出

5. 利用者数増加施策

(1) 遠距離通学者に対する経済的支援の拡大

遠距離の子どもたちが、家族送迎に依存せず、自ら公共交通を利用して通学するために、iバス(新公共交通システム)の運行に併せ、通学に対する経済的支援の拡大を図る。

具体的には、町中心部から4km以上の地域に住む中学生及び高校生に対し、町内バスの定期券購入代金の半額を町が補助する。



(2) エリア定期券の発行

定期券については、飯綱町内というエリア定期券を発行し、定期券で町内を運行するすべてのバスに乗車できるようにする。

エリア定期券は、ナイトワゴン(夜7時15分、牟礼駅発デマンドワゴン)の乗車にも利用可能とし、また、中学生、高校生に限り、昼間のデマンドワゴンの乗車にも、エリア定期券を利用可能とする。

(3) 回数券の発行

1割程度、得になる長電バス発行のバス回数券が、iバス(新公共交通システム)のすべてで利用できる。具体的にいうと、デマンドワゴン、ナイトワゴン、町内の定時定路線バスのほか、町外の長電バスで回数券が利用可能となる。

(4) 住民への広報

iバス運行（新公共交通システム構築）までの最新情報を町広報紙に7回にわたり掲載。（内特集3回）

まんがによるiバスの説明

一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯を中心に、民生委員が訪問して、iバス（新公共交通システム）の説明及び利用登録票のとりまとめを行う。

要請に基づき、町内50自治会中26自治会でiバスについての出前講座を開催
中学校生徒保護者への説明会を開催

6. 運行実績

(1) iバス（予約型乗合タクシー）の状況

iバス（予約型乗り合いタクシー）利用登録実績

平成20年3月1日現在

	登録者	全世帯(人口)	登録率
登録世帯数	2,435	4,093	59.5%
登録者数	7,361	12,820	57.4%

iバス（予約型乗り合いタクシー）乗車実績
年計（便別）

月	まち行き便			お帰り便				ナイトワゴン	計	運行日数	1日当り利用者
	1便	2便	3便	1便	2便	3便	4便				
10	223	108	37	84	190	124	70	5	841	22	38.2
11	244	125	42	85	198	139	76	20	929	21	44.2
12	247	153	53	89	201	130	213	33	1,119	19	58.9
1	247	116	52	74	189	139	88	45	950	19	50
2	282	177	53	91	236	194	222	36	1,291	20	64.6
3	265	181	79	96	230	164	153	31	1,199	20	60
計	1,508	860	316	519	1,244	890	822	170	6,329	121	52.3

乗合タクシー需要予測（日当り）

牟礼西	牟礼東	宇川・普光寺	倉井・赤東	計
14.3	11.2	11.2	12.3	49

(2) 路線バス利用状況

平成19年10月期路線バス利用状況

（国道線、牟礼線除く。飯綱、地蔵久保、東柏原は10月30日までの状況）

	利用者数	運行日数	日運行便数	月運行便数	日平均利用者数	便平均利用者数	計画時日当 需要予測
	a	b	c	d=b×c	a÷b	a÷d	
飯綱温泉線	1,534	21	8	168	73.0	9.1	51.2
地蔵久保線	626	21	6	126	29.8	5.0	15.7
東柏原線	684	21	6	126	32.6	5.4	26.2
奈良本線	225	22	6	132	10.2	1.7	9.8
堀越線	192	22	6	132	8.7	1.5	15.4
計	3,261				154.4		118.3

平成18年7月18日バス利用状況

（国道線、牟礼線除く）

	日利用者数	日便数	便平均利用者数 c=a÷b
	a	b	
高岡・飯綱線	121	18	6.7
奈良本線	27	17	1.6
溝口線	14	16	0.9
計	162		

(3) 決算状況(平成19年10月～平成20年2月)

新公共交通システム運行にかかわる経常経費決算状況

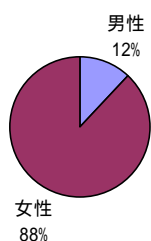
(単位:円)

項目	新システム	旧システム
運行期間	H19.10～H20.2	H18.10～H19.9
運行月数	5	12
定時定路線運行費	11,044,000	47,924,000
デマンド交通運行費(ナイトワゴン含む)	5,729,100	
システム保守通信費	89,275	
オペレーター人件費	1,026,000	
運行費計	17,888,375	47,924,000
運賃収入等	3,261,343	5,879,000
欠損額	14,627,032	42,045,000
町支出割合	100%	95%
町補助金額	14,627,032	39,943,000
1ヵ月当り運行費	3,577,675	3,993,667
1ヵ月当り運行運賃収入	652,269	489,917
1ヵ月当り町補助額	2,925,406	3,328,583

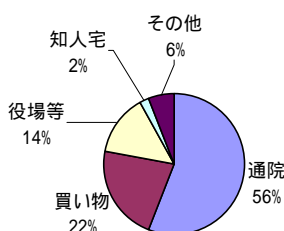
7. 利用者調査(対象者:利用者100人/実施時期:平成19年10月実施)

回答者平均年齢 77.8歳

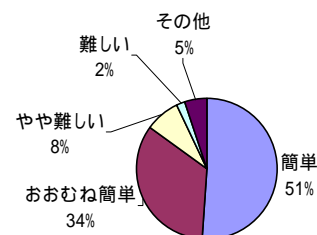
利用者の性別



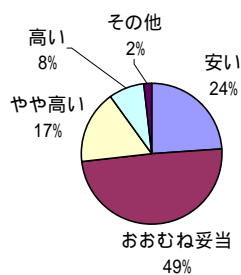
利用目的



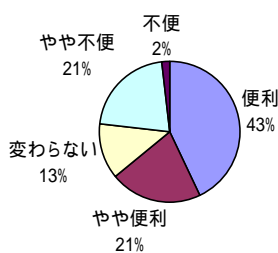
予約方法



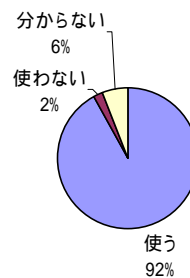
利用料金



前公共交通との比較



今後の利用



8 . 新公共交通システム導入後の新たなサービス向上施策

(1) お帰りの予約は発車時刻の 10 分前まで (平成 20 年 2 月より)

これまでアイバスの予約は発車時刻の 1 時間前となっていたが、お帰りに限り、発車時刻の 10 分前まで予約の受け付けを可能とした。

(2) デマンドの直接予約が可能に (平成 20 年 2 月より)

長電バス飯綱営業所待合室にアイバス予約センターを移転。営業所内の予約センター窓口で直接予約が可能になった。あたたかいお茶サービスも開始。

(3) 「電話お願いカード」の配布 (平成 20 年 3 月より)

耳が聞こえづらい方に、「電話お願いカード」を配布。病院や商店でカードを掲示すれば、利用者かわりに、病院や商店の方が予約の電話を行う。

カード配布者 16 人 (平成 20 年 4 月末現在)

(4) アイバス車両を増車 (平成 20 年 1 月より)

アイバス車両を 3 台から 4 台に増車。これまでより、運行時刻が正確に、また乗車している時間が短縮された。

(5) 片道定期の発行 (平成 20 年 1 月より)

中学生保護者からの要望により片道のみ定期券を発行。

(6) まちなかワゴンの運行 (平成 20 年 1 月より)

飯綱病院と地元の商店街を結ぶまちなかワゴンを、町商工会が運行。

《資料》

新公共交通システム導入経過

平成 18 年

- 6.6 町公共交通対策協議会設置要綱の制定
- 6.23 公共交通システム調査計画業務参加表明書提出
- 6.26 第 1 回公共交通対策協議会
- 6.29 公共交通システム調査計画業務技術提案書提出
- 7.3 公共交通システム調査計画業務技術提案者ヒアリング
- 7.7 公共交通システム調査計画業務請負業者について（株）地域総合計画に決定
- 7.11 第 1 回業務打ち合わせ（地域総合計画）
- 7.12 北陸信越運輸局長野運輸支局と打ち合わせ
- 7.13 長電バス（株）と利用実態調査について打ち合わせ
- 7.19 公共交通システム調査計画業務契約
- 7.19 第 1 回バス利用実態調査（平日運行状況）
- 7.20 長電バス（株）と打ち合わせ
- 7.27 第 2 回公共交通対策協議会
- 7.31 「交通に関するアンケート調査」配布（全戸）
- 8.12 区長へ公共交通住民意識調査について説明
- 8.31 「交通に関するアンケート調査」回収（回収率 64.7%）
- 9.22 第 2 回業務打ち合わせ（地域総合計画）
- 10.6 「飯網中学校遠距離通学生徒の保護者向けアンケート調査」配布
- 10.22 第 2 回バス利用実態調査（休日運行状況）
- 10.25 第 3 回業務打ち合わせ（地域総合計画）
- 10.25 「飯網中学校遠距離通学生徒の保護者向けアンケート調査」回収（回収率 77.9%）
- 11.1 第 3 回公共交通対策協議会
- 11.14 第 4 回業務打ち合わせ（地域総合計画）
- 11.24 第 5 回業務打ち合わせ（地域総合計画）
- 11.29 第 4 回公共交通対策協議会
- 11.29 富士見町デマンド交通視察
- 12.18 第 6 回業務打ち合わせ（地域総合計画）
- 12.28 第 7 回業務打ち合わせ（地域総合計画）
- 12.28 東御市デマンド交通視察

平成 19 年

- 1.5 商工会事務局と打ち合わせ
- 1.10 役場内交通施策担当課調整会議
- 1.17 新交通システム概要について長電バス（株）に説明
- 1.18 新交通システム概要について飯網ハイヤーに説明
- 1.18 新交通システム概要について鳥居川観光タクシーに説明
- 1.19 商工会理事会において新公共交通システムについて説明
- 1.23 北陸信越運輸局長野運輸支局と打ち合わせ
- 2.1 第 8 回業務打ち合わせ（地域総合計画）
- 2.7 第 5 回公共交通対策協議会
- 2.14 飯網中学校ヒアリング
- 2.20 信濃町公共交通担当との意見交換
- 2.23 飯網町議会全員協議会説明
- 3.20 公共交通システム調査計画業務完了
- 4.24 東御市デマンド交通視察、長野運輸支局、長電バスと打ち合わせ
- 4.27 飯網中学校 PTA へ新公共交通システムについて説明

4.27	飯綱町広報紙により新公共交通システムについて住民へ公表
5.15	デマンド交通受付システム参加表明書の提出
5.16	町地域公共交通会議設置要綱の制定
5.18	デマンド交通受付システム技術提案書の提出
5.22	デマンド交通受付システム技術提案者のヒアリング
5.23	デマンド交通システム導入業務委託業者がパイオニアナビコムに決定
5.29	第1回飯綱町地域公共交通会議開催
6.14	民生・児童委員へ新公共交通システムについて説明
6.15	飯綱中学校先生との打ち合わせ
6.27	一人暮らし高齢者へ新公共交通システムについて説明
6.28	第2回飯綱町地域公共交通会議開催
7.7	区長・組長会において、新公共交通システムについて説明
7.9	飯綱町商工会役員との打ち合わせ 長電バスとの打ち合わせ
7.19	デマンド用車両購入仮契約の締結 デマンド交通システム導入業務委託契約の締結
7.24	デマンド受付システム設置
7.31	第3回飯綱町地域公共交通会議開催 iバス利用登録票配布 小型バス購入仮契約の締結
8.20	受付オペレーター利用登録入力事務開始
8.21/22	町内の病院、歯科医院、薬局へ新公共交通システムについて説明
8.29	デマンド用車両購入契約及び小型バス購入契約について町臨時議会で可決
9.13	デマンド用車両（ハイエース3台）納品
9.25	町、商工会、運送事業者打ち合わせ会議
9.26	小型バス（日野ポンチョ1台）納品
9.28	デマンド交通システム納品
10.1	新公共交通システム運行開始